

地域未来創造会議（人吉球磨地域）議事概要

- 1 日 時 令和7年1月17日（金） 14:30～17:00
- 2 場 所 人吉市役所 301・302会議室
- 3 出席者
 - （1）市町村長
松岡人吉市長、森本錦町長、北口あさぎり町長、吉瀬多良木町長、長谷湯前町長、中嶽水上村長、吉松相良村長、木下五木村長、内山山江村長、松谷球磨村長
 - （2）県議会議員（オブザーバー）
松田議員、溝口議員、緒方県議
 - （3）県
[本庁]
木村知事、浦田地域振興・世界遺産推進局長、若杉地域振興課長 他
[地域振興局]
球磨地域振興局長、球磨地域振興局次長 他
- 4 議事内容
 - （1）知事から ～人吉球磨地域の未来への想い～
 - （2）市町村長から
 - （3）意見交換
- 5 会議資料 別添のとおり

結果概要

○ 緑の流域治水について

- ・ 緑の流域治水の観点から、県において、人工林の活用、自然林の環境維持等に努めていただきたい。
- ・ 竹の川上流の安心安全については、地元説明にも行っていただき感謝。地元の協議会からも意見いただいているので、対応をお願いしたい。
- ・ 流域治水の中に山村振興や林業振興を位置づけてほしい。
- ・ 令和2年7月豪雨で氾濫した柳橋川そばに上球磨消防組合がある。1階にある非常用電源が浸水しないよう昨年4町村長で堤防のかさ上げを依頼（あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村）。また、河川掘削は下流から実施するが、上流もしっかり掘削をお願いしたい。
- ・ 田んぼダムの効果を発揮させるためには、農地の大区画化や再整備を改めてしっかりやるべき。上流部の農地を再整備することが治水安全度の向上につながるし、農業の振興、ひいては食のみやこの推進にもつながる。

○ 創造的復興の推進について

- ・ ダム完成で創造的復興は終わりではなく、流域全体の地域づくりとしての復興事業がしっかり進むような手立てをお願いしたい。
- ・ 万江川土砂・洪水氾濫対策事業に合わせた小水力発電事業をお願いしたい。
- ・ 管内に公共の土捨て場整備の計画があるので県として取り組んでほしい。
- ・ 令和2年7月豪雨から五木村、相良村、人吉市、球磨村に目がいきがちだが、合流部、

本線、上流部も単に市房ダムの放水路と考えず、くま川鉄道、遊水地の利活用も含め、球磨川を地域の宝と捉えて景観を整備することが観光振興にも繋がる。

○ 遊水地について

- ・ 遊水地の日頃の利活用については、人吉球磨全体を俯瞰的にみて協議・計画する場があってもいいのでは。人吉球磨全体に効果の波及するような利活用ができないか検討できればと思う。競技等大会の誘致も視野に入れて検討して欲しい。
- ・ 肥薩線の利用促進にも繋がるよう肥薩線からの競技場への導線も考えていきたい。
- ・ 球磨村の遊水地について、工事費用が高騰し当初計画の倍ぐらいになっている。できれば縮小せず、当初の想いを貫きたい。予算的な部分では国・県にも支援をお願いし、子どもたちが夢を持てるような復興に繋げていきたい。
- ・ 錦町の遊水地について、多数の反対署名が出されている。国は反対を無視してまで工事はしないとのこと。上流の町村にも候補地について、協力いただきたい。

○ 働く場の確保、産業の振興について

- ・ 他地域に比べ人吉球磨地域は働く場が少ない。県で企業を誘致して、働く場所を確保して欲しい。人吉球磨地域に進出したいという企業情報があれば教えてほしい。
- ・ 管内市町村はそれぞれにジビエの加工所がある。広域で1つの大きな加工所を作れば加工量も増え、全国への強力な発信もできるのではと考える。
- ・ Uターン者が農地に家を建てようとしているが、農振地域のため認められなかった。人口減少対策の観点から、農振地域の除外要件を弾力化してほしい。
- ・ 村内企業が農地に事業所拡張を計画しているが難航。
- ・ 柱材は30年ほとんど値段が変わらない。利用価値を高めるための情報提供にご支援いただきたい。

○ 高校の更なる魅力化について

- ・ 人吉高校と球磨工業高校の合同寮を改修した結果、定員を超える応募があった。他地域からの入学者獲得のため寮を増設し、地元の高校の入学生増の後押しをお願いしたい。
- ・ 県立高校生のアルバイトについて、地域の人手不足解消や労働機会創出のため要件を緩めてほしい。
- ・ 県立多良木高校の閉校により過疎が加速したように思う。他地域への流出防止や活力を取り戻すため人吉球磨全体に高校を残すようお願いしたい。
- ・ 南稜高校は県外から入学生を呼び込むため、馬術部等の珍しい部活や焼酎の醸造などのアピールに取り組んでいる。
- ・ 魅力ある高等専門学校の整備及び卒業生の就職先を地域内で確保することを同時に進めてほしい。即戦力の人材確保や地域活性化について考えていただきたい。

○ 人材確保について

- ・ 農業の担い手不足、高齢化により危機的状況。法人化を進める中で、なかなか農家さんは法人化に参加されず、中小農家が1つになることに厳しさを実感したことから、農業者も危機感を感じてほしい。
- ・ 九州武蔵精密(株)の本社は、農業における人手不足解消や地域貢献のお手伝い事業を始めているが、県はタイミーに力を入れている。地元企業の取組みにも力をいれてほしい。

○ 台湾との交流について

- ・ 台湾との交流について、人吉球磨地域全体で交流の友好都市・姉妹都市ができないか、道案内いただきたい。山江村では、高雄の隣の嘉義県(かぎけん)にある、栗が特産の水上郷(みずかみごう)という自治体と連携協定を結びたいと考えているが、できれば人吉球磨一体となった交流事業を進めていきたい。

○ 日本遺産について

- ・ 日本遺産について、文化財保護のみではなく、観光の面からしっかり活用していかなければならない。

○ 広域連携について

- ・ 人吉球磨地域が他の地域に負けないよう維持、存続していくためには、地域が一丸となって物事を進めていくべき。
- ・ 要望書には今回の会議の集約があると思う。6つの要望を振興局長が座長になりながら、市町村から優秀な職員を出していただき、こういうことを県ではやってほしいということを具体的に詰めていければ、県から具体的な答えが引き出せるのではないかと思う。要望書の内容や遊水地の利活用についても検討するような会議体をつくってほしい。
- ・ 各コミュニティを守ることが重要。守るためにはその声が聞こえるシステムが必要。各市町村でやっているものを効率化・合理化し、一緒にやれるべきものはもっとないのか、行政コストをもっと下げられないのか、その地域が生き残るために我々がやることはないのか、しっかり考えていく時期がきている。そういったことを考える1年にしていきたい。

本日の会議では、11月29日に頂いた「人吉球磨地域の創造的復興に向けた要望」に関連する施策等を中心に、本地域の発展・将来に向けて、緑の流域治水や創造的復興の推進、人材確保等、多数の建設的なご意見が出された。その上で、今後は県の地域振興局を中心に、10市町村、関係団体等が連携を密に、頂いたご意見、ご要望を精査しながら、広域的に取り組んでいくことが確認された。

(以上)